

令和7年度 課長方針 検証

部課	市立病院 事務局 庶務課	課長	小川 淳治
----	--------------	----	-------

課の運営方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・安定した病院経営に向けて、経営強化プランを基に遂行に努め、収益確保に努める。 ・診療報酬改定についての情報収集に努め適切な施設基準の取得に努める。 ・各診療科等の医療従事者に様々な情報発信と共有化を図り安全な医療を提供する。 ・庶務課職員は常に病院経営を意識しながら業務を遂行する。 ・庶務課職員は、日頃から人身の体調管理と感染対策に努める。 	

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和7年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
経営強化プランの進行管理	経営強化プランの進捗状況を管理し、安定経営に繋げる。	経営強化プランの進捗状況を半期、年度ごとに管理し、外部の評価を受けながら、更なる病院経営の健全化を図る。	○	経営状況について、院内の管理会議や経営委員会を開催し進行管理を行うほか、経営強化プランの進捗については、蕨市立病院運営審議会において進捗報告を行い評価をいただいた。また、経営状況の悪化を受け、経営立て直しに向けた、経営危機打開プランを新たに令和8年2月に策定し収益向上を目指す。
医業収益の向上	入院患者の確保と病床利用率の向上を目指し収益の確保に繋げる。	地域の病院としての役割を果たすため、3階病棟内に設置する地域包括病床8床の運用を始めるほか、地域医療連携担当を中心に他院等の医療機関からの積極的な患者受け入れを行いながら収益の確保に繋げる。また、各階病棟の空きベットを横断的な利用にも努める。	△	令和7年9月から3階病棟の一部8床を地域包括ケア病床に転換し、急性期治療を終えた患者の他院からの転院や院内からの転床に努めるほか、救急の受け入れや施設からの入院調整を行いながら患者確保等に努めたが、入院収益の大幅な増加にはつなぎきれなかった。
診療報酬改定への対応	診療報酬改定への的確な対応を行い収益の確保へ繋げる。	診療報酬改定により新たに評価される項目に対し院内関係部署との連携を図り、多くの施設基準届出を行い収益の向上を目指す。	○	令和7年9月に「地域包括ケア入院医療管理料2」(年間収益見込み約1,100万円)、令和8年12月に「入退院支援加算1・2」(年間増収見込み約60万円)の届出を行った。令和8年診療報酬改定に向けた情報収集に努め、院内の医療従事者、委託職員を対象とした診療報酬改定説明会を令和8年3月26日に実施した。
医療従事者の確保と充実	市民に安心・安全な医療を提供するため、医療従事者の確保に努める。	診療体制の維持・充実のため、医療従事者の確保を図り安全安心な医療を提供し、収益の向上を目指す。	○	整形外科の常勤医師を確保したものの9月末付けで退職となった。非常勤医師の確保では、新たに順天堂大学より内科救急対応医師として6月から医局派遣が開始されたほか、泌尿器科の非常勤医師を新たに確保し診療時間の拡充を図った。また、新年度に向けて東京医大附属病院の呼吸器内科医局と交渉の結果、新たに医局員1名の派遣が決定した。このほか、新卒看護師3名を採用予定とするなど医療体制の維持に努めた。
新市立病院の整備	新蕨市立病院建設に向けた基本設計を行う。	令和7年3月末に策定された「病院整備基本構想・基本計画」を踏まえ、新蕨市立病院建設基本設計を行う。	○	令和6年度に策定した基本構想・基本計画に基づき、令和7年・8年度にかけて基本設計及び実施設計を進めており、7年度は基本設計(案)の取りまとめを行った。

令和7年度 課長方針 検証

部課	市立病院 医務局 看護科	看護部長	桑原 文子
----	--------------	------	-------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・専門職としての倫理観・知識・技術をみがき、看護の質向上に取り組む ・チーム医療を推進し、効果的な看護の提供を図る ・自ら学びともに育ち合う職場環境をつくる ・社会の変化に柔軟に対応し、健全経営に看護の視点で参画する

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和7年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
病床稼働の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な病床コントロール ・地域包括ケア病床の適性稼働 ・救急搬送応需の向上 	看護科組織として協働態勢をとり、病床稼働を上げ収益アップに繋げる。	△	病床稼働率は顕著な改善が認められなかったが、地域包括ケア病床の稼働は軌道に乗ってきている。その他の病棟に関しても、救急患者の受け入れ100%を目指し、スタッフの意識に変化がみられている。
スタッフ育成 能力開発	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアラダーに則った教育実践 ・研修会(医療安全・感染対策・接遇・セルフマネジメント) 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ個々が目標管理に基づいた具体的な実践行動がとれる。 ・e-ラーニングの活用推進 	○	昨年度から導入したe-ラーニングは、積極的に利用できしており、教育担当者の負担軽減にもつながった。効果的な活用ができていると判断できる。現場の看護に還元できるよう引き続き働きかけていく。
適性な人員配置	<ul style="list-style-type: none"> ・働きやすい職場環境の構築 ・計画的な採用活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフの意向調査に基づき、職場環境および必要な支援の整備、職員動向の把握 ・教育的な配置転換 	○	今年度は、職員全員の面談を実施し、ひとりひとりの声を聞くことで、各々に必要な支援を把握できた。また、配置転換に関しては、その必要性や意義を伝え、計画的な配置転換ができた。

令和7年度 課長方針 検証

部課	市立病院 医務局 薬剤科	薬剤部長	濱浦 睦雄
----	--------------	------	-------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・医療安全に細心の注意を払い、患者にとって有効かつ安全な薬物療法に貢献し、質の高い医療サービスを提供する。 ・蕨市の中核病院として、医療・福祉に必要な医薬品の安定供給に努める。 ・退院後も地域において必要な薬物療法が継続されることを目指し、薬剤業務の充実を図る。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和7年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
病棟薬剤業務の充実	適切な薬物療法が地域で切れ目なく継続されることを目指し、ポリファーマシー対策および入退院時の情報共有を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ポリファーマシー対策が必要と考えられる患者に対し、入院当初から関与することで、診療報酬算定を含め確実に介入する。 ・薬剤管理サマリーを発行する患者を増やすため、記載方法の効率化を図る。 ・上記業務を実施しても、診療報酬の算定要件を満たさない事例について調査し、対応を検討する。 ・副作用報告やプレアポイド報告といった、病棟薬剤業務に関連したDI業務について、積極的に取り組む。 	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・持参薬6剤以上の患者に対する介入を優先したことで、ポリファーマシー対策に係る診療報酬の算定件数が増加した(薬剤総合評価調整加算32件→57件、薬剤調整加算21件→31件)。 ・退院時の情報共有強化を目的とし、薬剤管理サマリイの記載方法を見直したことで、診療報酬の算定件数も増加した(退院時薬剤情報管理指導料174件→331件、退院時薬剤情報連携加算36件→90件)。 ・病棟業務におけるDI業務については、従来通りの取り組みに留まった。
外来調剤業務の充実	外来患者におけるポリファーマシー対策への関与について検討する。	外来においてポリファーマシー対策に関与するために、残薬情報の得られた患者に対する介入方法を検討し、実践する。	△	2名の患者から残薬情報を得たが、処方調整には至らなかった。
ジェネリック医薬品およびバイオ後続品の導入促進	患者の経済的負担および医療費削減に寄与するジェネリック医薬品およびバイオ後続品を導入する。	流通状況を確認しながら、先発医薬品・バイオ先行品からジェネリック医薬品・バイオ後続品への変更を進める。	◎	30品目について変更し、使用割合が数量ベースで76.9%→80.7%に増加した。

令和7年度 課長方針 検証

部課	市立病院 医務局 放射線科	科長	小板橋 和博
----	---------------	----	--------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・最新医療技術の習得を怠らず安全で質の高い検査を保証し、診断・治療に役立つ画像の提供を努める。 ・放射線科内で情報の共有を図り、他科との連携を密にしチーム医療を行う。 ・放射線検査に関する説明及び撮影方法の提案を行う。 ・放射線の専門職として放射線被ばくの低減に努める。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和7年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
院外勉強会	医師会・放射線技師会が主催する学会・勉強会の参加	最新医療技術の知識習得を図る。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・上部消化管読影勉強会の参加 ・CT・MRI撮影技術勉強会の参加
チーム医療	<ul style="list-style-type: none"> ・画像診断における読影の補助 ・医師・他部署との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急度が高い所見を見落とさず医師との共有を図る。 ・検査時間の短縮・待ち時間短縮を心がけ安全に検査ができるよう努める。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・医師へ検査所見の情報提供 ・消化管検査・乳腺検査の技師所見レポート作成 ・看護師と密に連絡を取り合い検査時間、待ち時間の短縮
医療被ばく線量管理	被ばく線量管理の義務化に伴い指針を策定する。	<ul style="list-style-type: none"> ・放射線診療に従事する職員の研修を実施する。 ・被ばく線量の管理・記録をおこなう。 	○	研修を1年度あたり1回以上開催し、さらに必要に応じて定期的な開催とは別に臨時に開催
医療機器性能評価	各医療機器メーカーの特性を習得する。	最新医療機器の有効性・安全性についての知識を学ぶ。	○	国際医用画像総合展に参加
職場会議	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の問題点や改善点の検討 ・検査行動マニュアルの再確認 	職員が安全に働きやすい職場環境づくりに努める。	○	始業前・終業に行う職場会議実施

令和7年度 課長方針 検証

部課	市立病院 医務局 臨床検査科	科長	三室 晶弘
----	----------------	----	-------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・臨床検査科は病院の基本理念に基づいて、常に患者の利益を最優先に考え、実行する。 ・検査データの精確性を第一に考え、医師・患者へ、質の高い・責任を持った検査データの提供を心掛ける。 ・試薬及び機器の安全管理に重点を置くと共に、臨床検査科全体及び個人の能力のスキルアップを怠らない。 ・検査科として関われる患者サービスの向上に、最大限の提供を心掛け、努力を怠らない。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和7年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
精度管理事業	毎日行う、内部精度管理及び年数回行われる外部精度管理事業に参加し検査データの精確性を確保する。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本臨床衛生検査技師会・埼玉県医師会等主催の外部精度管理事業に参加し、A評価を得ることを目標とする。 ・令和6年6月1日付けで承認・更新された日本臨床衛生検査技師会「品質保証施設認証」の認証承認基準を維持する。 	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・日本臨床衛生検査技師会主催の外部精度管理事業に参加し、評価対数214件中、A・B評価は213件、99.5%であった(日臨技施設認証基準はA・B評価が90%以上)日本臨床衛生検査技師会「精度保証施設認証」の認証基準を維持する目標を達成できた。 ・令和7年6月には日本臨床衛生検査技師会「品質保証施設認証」を取得出来た。
機器・試薬の安全管理	日常の始業点検・定期点検を行い検査データを保障する。	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の機器メンテナンスを心掛けることや毎日行う内部精度管理データの検証により、機器・試薬に依存する検査データの不具合防止に努める。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の始業点検・定期点検に加え、毎日行う内部精度管理データの検証・稼働中の機器の状況(異音・エラー音などの作業中の情報)を早期に発見することにより、検査データの不具合等はおおむね防止できた。
医療法改正に伴う検査室の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・医療法等の一部改正に伴う、臨床検査における品質・精度の確保等、検査室の整備・対応 ・高度な医療情勢に対応するための適切な研修の実施及び参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省から示された検査室の整備基準に従い、全ての検体検査測定・検査機器保守管理等の標準作業書、各作業日誌、試薬管理台帳等の整備及びその管理運営を引き続き継続・検証・改善に努め、病院内で求められるニーズへ対応する。 ・院内・院外・科内等、種々の研修に参加することにより個人の能力のスキルアップを行ない、検査科全体のレベルアップを目標とする。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・整備基準に従い、適切な対応を図ることができた。 ・院内・院外・科内等、種々の研修に参加し個人の能力のスキルアップを行ない、検査科全体のレベルアップができた。

主要事業			令和7年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
医療安全管理	検査業務に関わるアクシデント・インシデント・ヒアリハットなどを発生させない医療安全管理を行う。	検査業務に関わる医療事故防止のため、人的・機器的要因やシステムを分析し、検査科職員間で情報を共有しその発生防止に努める。また、従来の医療安全の考え方の上に、各自が判断し臨機応変に対応するため個人の調整能力向上に努める。	◎	大きなアクシデント等もなく、適切に医療安全管理を行った。
試薬・消耗品管理	検査データの精確性・安定性に重点を置き、コスト意識を常に持ち試薬の検討を行う。	・引き続き検査データの精確性・安定性を重視した上で、使用方法・管理等を見直し、コスト削減に臨む。 ・パンデミック時の検査試薬の確保に努める。	○	試薬・消耗品の変更及び外注項目の院内検査への変更等を検証し年間コストの削減に貢献できた。また、入荷困難時にも迅速に対応し試薬、消耗品の欠品を防いだ。
チーム医療	感染制御・医療安全等チーム医療への参加など臨床支援に関わる。	検査科として関われるチーム医療で、積極的な支援を継続する。(感染制御チーム、医療安全推進チーム、栄養管理チーム、小児科検査機器管理等)	○	各チーム医療において、検査科からの視点で意見を積極的に述べる事ができた。新型コロナウイルス、インフルエンザウイルス等感染状況を把握し、情報発信をすることができた。
非常事態時の危機・安全管理	非常事態時の人的確保、検査データの提供、機器・試薬の管理・確保等の検討を行う。	大震災の教訓を生かし、非常事態時における種々の危機を想定した上で、検査科業務の対応を検討する。	○	普段より危機的状況を意識し、機器の設置・固定や無駄にならないような試薬等の備蓄、在庫管理を実行した。
患者サービス	検査科としてできる患者サービスを勘案し、積極的に取り組む。	・患者満足度が上がるような接遇に取り組む。 ・検体採取から結果報告までの時間(TAT)を短縮する。	◎	・接遇では患者への挨拶・積極的な声掛け等を心掛けた。 ・普段から検査の進捗状況を把握し、検査結果をスムーズに提供できるよう努力した。

令和7年度 課長方針 検証

部課	市立病院 医務局 栄養科	科長	高田 隆
----	--------------	----	------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・自己研さんに励み、チーム医療の一員として栄養面から患者をサポートする。 ・おいしく、安全で、満足度の高い食事を提供する。 ・早期退院を目指し、患者個々の身体状況に応じた栄養管理を心がける。 ・実践しやすく、継続しやすい栄養食事指導を行う。 ・互いに認め合い、協力し、高め合う職場環境づくりに取り組む。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和7年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
病院給食	<ul style="list-style-type: none"> ・大量調理施設衛生管理マニュアルに基づいた安全で衛生的な食事の提供 ・食事アンケートの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理の徹底と、異物混入、誤配膳等のインシデントの発生防止に努める。 ・患者の意見を献立に反映させた、満足度の高い食事の提供を心がける。 ・食品ロスの削減に努める。 	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・食中毒の発生なく、安全な食事を提供した。 ・インデント防止のため、最終トレーチェックのダブルチェックを徹底し、発生率の低減に努めた。 ・食事アンケートや残菜調査の結果、検食簿の意見を踏まえ、献立や使用食材の見直しを行い、患者の意見を反映した満足度の高い食事提供に努めた。その結果、令和7年8月の食事アンケートでは、高評価を得た。 ・食品ロス削減のため、料理の作りすぎ防止と喫食率の高いメニューの導入に努めた。
栄養食事指導 (個人指導)	主治医や他院からの依頼による入院栄養食事指導と外来栄養食事指導	患者の社会背景を勘案し、実践しやすく継続しやすい食事計画の提案に努める。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・患者の生活背景や嗜好を考慮し、実践しやすく、継続可能な指導内容となるように努めた。 ・指導方法の工夫や指導資料の改善を行い、理解しやすく効果的な指導に努めた。
栄養食事指導 (糖尿病教室)	糖尿病患者に対する集団栄養食事指導	患者同士の交流を大切にし、実践形式を取り入れた指導を行う。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・6月に実施した。 ・症例の紹介や、継続しやすい食事療法の提案を取り入れ、患者が関心を持ちやすい内容となるように工夫した。
入院患者の 栄養管理	<ul style="list-style-type: none"> ・他職種と連携し、入院患者の栄養状態のスクリーニング、栄養管理計画書の作成、定期的な評価の実施 ・栄養管理チーム会議の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・患者個々の栄養状態を把握し、問題がある場合は、最善の栄養療法を提案できるように努める。 ・月1回、他職種と栄養管理チーム会議を実施し、低栄養患者の症例検討を行う。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ほぼ全ての入院患者に対し、入院時の低栄養スクリーニングを実施し、対象者には栄養モニタリング、栄養管理計画書の作成および定期的な評価を行った。 ・患者や他職種スタッフと連携し、個々に応じたきめ細やかな栄養管理に努めた。 ・月1回、他職種のメンバーと栄養管理チーム会議を開催し、症例検討を行った。